

『今、いただきます！』 ヨハネの福音書 6章51～59節 2017.9.17(聖日礼拝説教より)

『これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです…この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です…』ルカ 22:19～20

①肉を食べるのは、今！(51～53 節)…ユダヤ人は問う！『イエスは自分が命のパン』と言うが、どうやって食べさせるのかと。今、私たちも問う！神の御子が世に来て、十字架で死んで甦ったと言うが、その復活の命を、どうすれば自分のものにできる？その方法についてイエスは、『わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む(ヨハネ 6:54)』と言う。『肉と血』とは、イエスの肉が裂かれて血が流された「十字架」のこと！◆旧約聖書で、『肉を食べ、血を飲む』とは、残酷に命が奪われる表現だが、イエスが十字架で処刑された時、それは、惨殺された姿を表すと共に、永遠の命を自分のものとする方法でもある！あの2千年前の御子の死が、「私の罪の身代わりだった」と信じて、神がなされた罪の赦しを受け入れた時、その命は自分のものに！★あなたは「いのちのパン」を食べて、永遠の滅びから救われたか？すでに救われたあなたは、その命が、日々あなたの血となり肉となり、赦しを確信させ、力を与え、希望に向かって歩ませているか？

②永遠のいのちを、生き抜くのは「今」(54～58 節)…『食べる・飲む』は「食べ続ける・飲み続ける」の意。ヨハネは、十字架の恵みを表す「聖餐」は、週1回や月1回の儀式の時だけのものでなく、日々の食卓で、あのイエスの臨在と祝福を味わうと教える！毎回の食事の感謝が、聖餐の感謝だと！◆「食べる(トウロゴ-)」(6:54～58 で4回)とは、獣が餌を「バリバリ音を立てて食べる」表現！私たちが「命のパン」をいただくのは、飢え渴いてガツガツ食べ、肉を噛み砕いて消化し、身体の元気を回復するため！日々聖書を開き、イエスの命にがつつく！聖書から「あなたを愛している！」との御声をいつも聞く！いつも主と結ばれていて、繰り返し力をいただく！これが永遠の命とつながること！◆永遠の命の、もうひとつの特徴は、この世への「派遣意識」！『生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きる(6:57)』！イエス様と結ばれ、永遠の命に生かされている人は、神のために生き、人のために働く！神が私を世に遣わされたという『召命感／使命感』をもつ！

★あなたは、日々御言葉に飢え渴き、イエスの命をガツガツ食べているか？今、主の御前に、『私は、何(誰)のために生きるのか？』と、生ける神に聴こう！ヨハネ 6:56 & 15:5